学校番号	２１０

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	All Aboard! English CommunicationⅡ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

レッスン毎に英語を使う活動を入れ込み授業を展開する予定です。知識を理解するのみでなく、　得た知識を用いて「書く・話す」を行いますので、授業で学ぶ文法・語彙は後で英語を使うために理解・記憶する意識を持ってください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①オーラルイントロ,社会的事柄，身近な内容について背景知識,既習事項,中学語彙(800 語レベル)を踏まえたうえで複数の重要語理解・内容理解ができる。[繰り返し，3 分程度(60wpm)] ②以下の言語材料が含まれたクラスルーム英語を 1 度聞いて,5文程度の重要情報を理解できる。 注意/指示/命令/ルール説明/手順/中学語彙(800 語レベル)	①学習活動：精読→音読 既習事項・高校語彙含む(1200 語レベル)，15 文程度(200語程度)で構成された社会的事柄の文章を読み指示語/重要事実/全体要旨/トピックセンテンスを文構造を把握して理解できる。 ②学習活動：速読 既習事項/中学語彙(400語レベル)8文-10 文程度(100語)で構成された身近な内容・対話文・物語を読み，全体要旨/タイトルを戻り読みせず理解できる。	①社会的な事柄について内容･文構造理解した上で10文程度で説明することができ,それの事実に関する内容の質疑応答できる。	①自身に関わる物・事・人について経験・感想を添えて8文程度で紹介することができる。	①社会的事柄についての 100 語からなる文章を重要ポイント(中心文)を含め 6 文程度で要約することができる。 ②以下の言語材料を含み 8 文以上からなる日記を書くことができる。 事実の説明/日常を順序だてる ③以下の言語材料を含み 8 文以上からなるファンレターを有名人に書ける。 あいさつ/自己紹介/お願い/理由/感想

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きの理解を深め、読む、聞く、書く、話すの言語活動を目的や場面に応じ、適切に使用できる能力を身に付けている。	・授業で得た知識、技能をもとに色々な話題の内容や相手の意見を理解し、自分の考えを明確に適切な表現を使用して伝えている。	・授業に対し、積極的に取り組んでおり、自発的にコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Pre-Lesson My Plans for This Year	聞くこと	a: to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: 今年やってみたいことに関する内容の文を理解している。 c: 相手の意見を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: 今年やってみたいことに関する内容の文を理解している。 c: 本文の概要を捉えようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・プリント ・振り返りメモ
		話すこと （発表）	a: to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: 今年やってみたいことなどに関する相手の発言を理解し、それに返答できる。 c: 相手に自分の意見を積極的に話そうとしている。	スピーキング テスト （ペアワーク）
		書くこと	a: to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: 今年やってみたいことなどを整理して，相手が理解しやすいように伝えている。 c: 相手に自分の意見を積極的に表現しようとしている。	・定期考査 （ライティング） ・プリント ・レポート課題
	中間考査			
	Lesson 1 Lesson 2	聞くこと	a: 関係代名詞 what・比較表現などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: イタリアのブラーノ島や the Beatles に関する内容の文を理解している。 c: 相手の意見を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 関係代名詞 what・比較表現などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: イタリアのブラーノ島や the Beatles に関する内容の文を理解している c: 本文の概要を捉えようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・プリント ・振り返りメモ
		話すこと （やりとり）	a: 関係代名詞 what・比較表現などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: イタリアのブラーノ島や the Beatles に関する相手の発言を理解し、それに返答できる。 c: 相手に自分の意見を積極的に話そうとしている。	スピーキング テスト （ペアワーク）
		書くこと	a: 関係代名詞 what・比較表現などを用いられた文の形・意味を理解している。 b: イタリアのブラーノ島や the Beatles を整理して，相手が理解しやすいように伝えている。 c: 相手に自分の意見を積極的に表現しようとしている。	・定期考査 （ライティング） ・プリント ・レポート課題
	期末考査			
2	Lesson 3 Lesson 4	聞くこと	a: it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉や]間接疑問文の形・意味を理解している。 b: ハチドリやワイルドマンに関する内容の文を理解している。 c: 相手の意見を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉や]間接疑問文の形・意味を理解している。 b: ハチドリやワイルドマンに関する内容の文を理解している c: 本文の概要を捉えようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・プリント ・振り返りメモ
		話すこと （発表）	a: it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉や]間接疑問文の形・意味を理解している。 b: ハチドリやワイルドマンに関する相手の発言を理解し、それに返答できる。 c: 相手に自分の意見を積極的に話そうとしている。	スピーキング テスト （ペアワーク）
		書くこと	a: it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉や]間接疑問文の形・意味を理解している。 b:ハチドリやワイルドマンを整理して，相手が理解しやすいように伝えている。 c: 相手に自分の意見を積極的に表現しようとしている。	・定期考査 （ライティング） ・プリント ・レポート課題
	中間考査			

	Lesson 5 Lesson 6	聞くこと	a: to 不定詞を含む表現を用いた文や動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。 b: 歌舞伎と隈取や伝統野菜に関する内容の文を理解している。 c: 相手の意見を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: to 不定詞を含む表現を用いた文や動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。 b: 歌舞伎と隈取や伝統野菜に関する内容の文を理解している c: 本文の概要を捉えようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・プリント ・振り返りメモ
		話すこと （やりとり）	a: to 不定詞を含む表現を用いた文や動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。 b: 歌舞伎と隈取や伝統野菜に関する相手の発言を理解し、それに返答できる。 c: 相手に自分の意見を積極的に話そうとしている。	スピーキング テスト （ペアワーク）
		書くこと	a: to 不定詞を含む表現を用いた文や動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。 b: 歌舞伎と隈取や伝統野菜を整理して，相手が理解しやすいように伝えている。 c: 相手に自分の意見を積極的に表現しようとしている。	・定期考査 （ライティング） ・プリント ・レポート課題
	期末考査			
3	Lesson 7 Lesson 8	聞くこと	a: 関係副詞 where, when を用いた文や知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界中で壁画を描く活動についての話や生物模倣に関する内容の文を理解している。 c: 相手の意見を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 関係副詞 where, when を用いた文や知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界中で壁画を描く活動についての話や生物模倣に関する内容の文を理解している c: 本文の概要を捉えようとしている。	・定期考査 （リーディング） ・プリント ・振り返りメモ
		話すこと （発表）	a: 関係副詞 where, when を用いた文や知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界中で壁画を描く活動についての話や生物模倣に関する相手の発言を理解し、それに返答できる。 c: 相手に自分の意見を積極的に話そうとしている。	スピーキング テスト （ペアワーク）
		書くこと	a: 関係副詞 where, when を用いた文や知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 b: 世界中で壁画を描く活動についての話や生物模倣を整理して，相手が理解しやすいように伝えている。 c: 相手に自分の意見を積極的に表現しようとしている。	・定期考査 （ライティング） ・プリント ・レポート課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度